

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部生涯学習課	No.	1
事務事業名	生涯学習活動推進事業		
総合計画 の体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
事業目的	人々が自らの意思で、生涯学習活動を進めることにより、大口町生涯学習基本構想に基づく「生涯学習のまちづくり」を目指すこと。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興（芸能文化事業） ※町NPO団体と協働委託契約を結び芸能文化事業を手掛けていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・成人の集い実行委員会支援 ・文化協会支援 ・リフレッシュリゾート施設利用助成 ・学校支援地域本部事業 	
現在における課題	<p>大口町文化協会は、会員の高齢化が進んでいるが、その中でも、念願の協会の独り立ちが期待されている。</p> <p>学校支援地域本部事業の小学校への拡大</p>		
平成23年度に向けた改善策等	<p>協会の独り立ちができるよう、協会内で事務員の確保を目指す。</p> <p>小学校で事業展開ができるよう環境を整えていく。</p>		

■作業工程（平成23年度）

月	作業内容
4	大口町文化協会補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月） 学校支援地域本部事業の協働委託を締結 事業の展開支援（4月～3月）
6	町NPO団体と協働委託契約を締結 芸能文化事業の展開（6月～2月） ・ほほえみコンサート、なんでもマラソンコンサート、おおぐち合唱祭、ダンス&ミュージック
7	大人の集い実行委員会立ち上げ 事業の展開（8月～1月）
1	大人の集い開催 リフレッシュリゾート施設利用申請受付、利用券交付（4月～3月）

□3年間の目標

目 標	.						
	項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	.
H25	.

■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	9,836	9,880	17,142
(内特定財源)		千円	0	100	786
人工	職員	人工		1.1	0.8
	臨時職員	人工		0.3	0.2
	計	人工		1.4	1.0

■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
03	13	学校支援地域本部事業委託料	6,500	補助事業対象分として 1,030 千円を計上 内訳 コーディネーター謝礼金、消耗品 通信運搬費等 事務員費として 4,560 千円を計上 内訳 200 千円×12 月 180 千円×12 月 ボランティア活動の取りまとめ、 調整、資料作成等 事務員に係る雇用保険等 910 千円
	19	リフレッシュリゾート施設利用助成金	762	年間利用実績による増額
合 計			7,262	

■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
芸能文化等鑑賞入場料	100	
学校支援地域本部事業費補助金 (国費)	343	
学校支援地域本部事業費補助金 (県費)	343	
合 計	786	

■特記事項

--

■改善策等に対する取組内容

文化協会の独り立ちができるよう、協会内で事務員の確保を目指すよう努力は続けているが、会員全体の高齢化の問題もあり、思うようには改善出来ていない。

学校支援地域本部事業のより一層の事業展開を図るため、小学校を担当するコーディネーターを兼ねた事務職員を増員した。中学校では、事業が充実してきており小学校でも積極的に事業展開を始めている。

■評価

文化協会の独り立ちについての努力は続けているが、なかなか進展していないのが現状である。しかし、文化協会の活動内容については、発表会や慰問なども含め、公益的な活動についても活発な活動が展開されており、今後も同様に支援をしていくことで、町全体の文化レベルの向上につながるものと考えている。

小学校を担当するコーディネーターを増員したことにより、小学校での事業展開がスムーズに進み、3小学校すべてで学校支援のボランティア登録がされ、事業が実施できる事となった。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部生涯学習課	No.	2
事務事業名	生涯学習講座事業		
総合計画 の体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
事業目的	町民一人ひとりが、変化の多い社会の中で「明るく、楽しく、豊かに」生きることを願い、様々な分野の各種講座を開設しながら、個々の教養や技術を習得すること。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期講座 ※前期、後期に分け、主に教養を深めることや趣味の拡大を目的に1講座6回程度開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旬の講座 ※その時度にあわせて1講座1回から3回程度開催する。 	
現在における課題	最近の講座や教室は、多種多様になってきて、従来の内容では参加者を募ることが困難になってきた。多くの参加を見込める講座等を企画する必要がある。		
平成23年度に向けた改善策等	アンケート調査で得た情報を基に、更に住民ニーズを吟味し、新たな講座等を企画していく。		

■作業工程（平成23年度）

月	作業内容
4	前期家庭教育講座の受付及び事業展開（5月～8月）
10	後期家庭教育講座の受付及び事業展開（11月～2月）
	* 事業の展開と共に、新たな講座等を企画していく。

□3年間の目標

目 標	.					
	.					
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	.
H25	.

■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	1,266	1,649	1,599
(内特定財源)		千円	171	200	200
人工	職員	人工		0.9	0.9
	臨時職員	人工		0.6	0.2
	計	人工		1.5	1.1

■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業 番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
合 計				

■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金 額	備 考
社会教育講座受講料	200	
合 計	200	

■特記事項

--

■改善策等に対する取組内容

受講者へのアンケートや多方面での聞き取り、民間業者により各所で実施されている講座の情報収集、他市町村で実施されている講座の状況や内容、近隣大学等で実施されるオープンカレッジ等の内容把握、等々により多種多様な住民の学習要求に応えられるよう、常に準備に努めている。

■評価

「生涯学習基本構想」の基本目標キーワードである「学びを創る」「学びに集う」「学びをつなぐ」という考え方により、特に講座については「誰でも、いつでも、気軽に学べる」を基本として、講座内容の選定を行っており、今後の人材育成や生きがいづくりにつながっているものと考えている。

教育委員会以外の部署や町登録NPO団体等が実施している講座や教室との実施時期や内容の調整がいまひとつ出来ていない部分があり、今後の課題である。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	3
事務事業名	家庭教育推進事業		
総合計画 の体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(2)	一人ひとりが尊重される社会・地域ぐるみの子育て環境の実現
事業目的	将来を担う子どもたちの健全育成のため、学校・家庭・地域が連携し、すべての教育の基である家庭教育を充実・発展させること。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座 ※小学生以上を対象にした講座や親子を対象にした自然体体験教室等を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子ふれあいファミリーフェスタ ※ふれあいまつりで小、中学校PTAと協働契約により開催する。 	
現在における課題	講座や体験教室に同じ受講者が参加したり、毎年、同じ事業が展開されていて、事業がマンネリ化している傾向がみられる。		
平成23年度に向けた改善策等	事業がマンネリ化しないよう、過去のアンケート調査で得た情報を基に、更に住民ニーズを吟味し、新たな事業の展開を図る。		

■作業工程（平成23年度）

月	作業内容
4	前期家庭教育講座の受付及び事業展開（5月～8月）
7	日間賀島親子自然体験教室開催
10	後期家庭教育講座の受付及び事業展開（11月～2月）

□3年間の目標

目 標	.					
	.					
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	. .
H25	. .

■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	8,771	1,981	2,031
(内特定財源)		千円	7,144	485	355
人工	職員	人工		1.1	0.8
	臨時職員	人工		0.2	0.2
	計	人工		1.3	1.0

■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
03	19	愛知おやじサミット in 大口開催負担金	300	県内おやじの会の主催によるイベントを大口町で開催することとなったため。
合 計			300	

■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
家庭教育活動参加者負担金	355	
合 計	355	

■特記事項

--

■改善策等に対する取組内容

受講者へのアンケートや多方面での聞き取り、民間業者により各所で実施されている講座の情報収集、他市町村で実施されている講座の状況や内容、近隣大学等で実施されるオープンカレッジ等の内容把握、等々により多種多様な住民の学習要求に応えられるよう、常に準備に努めている。

また、「生涯学習のまちづくり実行委員会」が実施する子供向け・親子向け講座などと連携し、事業展開を拡大している。

■評価

生涯学習のまちづくり実行委員会が実施する子供向け・親子向け講座などと連携し、事業展開していく事により、学校との連携・調整もスムーズに行えるようになってきた。

まだまだ、教育委員会以外の部署や町登録NPO団体等が実施している講座や教室との実施時期や内容の調整がいまひとつ出来ていない部分もあるが、「生涯学習のまちづくり実行委員会」との連携をより密にしていく事で、そういった問題の解決も図っていきたいと考えている。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部生涯学習課	No.	4
事務事業名	生涯学習施設管理事業（文化施設）		
総合計画 の体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
事業目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、教養や技術を習得する共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の利用者対応 ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充 ・ 除草等清掃作業 	
現在における課題	開館からすでに30年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在している		
平成23年度に向けた改善策等	修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応していく。		

■作業工程（平成23年度）

月	作業内容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。
10	中央公民館屋上防水工事を実施する。
	* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。

□3年間の目標

目 標	.					
	.					
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	.
H25	.

■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	76,397	68,655	76,552
(内特定財源)		千円	6,876	6,743	6,658
人工	職員	人工		0.9	0.8
	臨時職員	人工		0.3	0.1
	計	人工		1.2	0.9

■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
03	15	中央公民館屋上防水工事費	8,254	防水シートが劣化し、雨水が浸透し漏水を生じているため。
合 計			8,524	

■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
行政財産目的外使用料	67	
中央公民館使用料	3,246	
町民会館使用料	1,933	
施設利用負担金	1,412	
合 計	6,658	

■特記事項

--

■改善策等に対する取組内容

中央公民館については、過去に実施した耐震診断に基づき、再度施設の耐震化について計画を検討し始めた。平成24年度以降で耐震化計画にめどを付け、併せて施設の大規模な改修計画も立てていく事を検討している。

■評価

中央公民館を再度避難所として位置づけることで、町長部局とも連携し施設の耐震化について、実施計画づくりに着手することができた。今後は、施設全体の活用内容も検討しつつ耐震化及び改修計画を進めていく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	5
事務事業名	生涯学習施設管理事業（体育施設）		
総合計画 の体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
事業目的	町民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるよう、施設を整備し、体力づくり、健康づくりなど、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理以外の設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認・支払処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品等の補充 ・除草等清掃作業 	
現在における課題	体育施設全体的に施設の老朽化は否めない。一部の施設を除き、管理運営が指定管理者に委ねられたが、大規模な修繕を要する施設もあり、今後、どう対応していくか課題となっている。		
平成 23 年度に向けた改善策等	温水プールを始め他のスポーツ施設についても、管理運営が指定管理者に委ねられていることから、適切な対応がとられているか慎重に見守っていく。また、温水プールは、設置以来、取り換えられていない塩素タンクの改修工事を行う。		

■作業工程（平成 23 年度）

月	作 業 内 容
4	屋内運動場の年間保守点検業務等の契約締結 施設予約システム開発業務の契約締結
6	温水プール塩素タンク改修工事、排水管改修工事を実施する。
	年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の動向を慎重に見守っていく。 大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。

□ 3 年間の目標

目 標							
	項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

□ 2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H 2 4	
H 2 5	

■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	109,957	92,240	102,213
(内特定財源)		千円	35,484	1,333	2,111
人工	職員	人工		1.0	0.9
	臨時職員	人工		0.1	0.1
	計	人工		1.1	1.0

■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
03	13	体育施設管理運営委託料	1,121	指定管理委託料の増額のため
	15	温水プール設備改修工事費	7,350	塩素タンク取替え、排水管改修工事のため
04	13	保守点検委託料	1,196	屋内運動場の保守点検、警備等 県のシステムが終了するため町単独で行うため。
		施設予約システム開発委託料	1,764	
		野球グラウンド芝管理委託料	800	野球グラウンドの芝を管理するため。
	18	グラウンド用備品購入費	200	屋内運動場用備品の購入
05	11	修繕料	2,204	アスレチック遊具等の修繕をするため。
合 計			14,635	

■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
行政財産目的外使用料	615	
スポーツ施設使用料	895	
野外活動施設使用料	1	
特別養護老人ホーム負担金	600	
合 計	2,111	

■特記事項

--

■改善策等に対する取組内容

温水プール及び他のスポーツ施設についても、多くの施設の管理運営が指定管理者に委ねられていることから、適切な施設管理及び運営が行われているか常に確認を行い、また、指定管理者と連携を図りながら施設管理及び運営を実施してきた。

温水プールについては、塩素タンクの改修取替工事を実施した。

■評価

温水プール及び他のスポーツ施設についても、多くの施設の管理運営を指定管理者に委ねたことにより、利用者にとってはより快適な利用の出来る施設となっていると考えている。

指定管理者制度を活用していない施設については、町職員自らが施設の維持管理作業を行うことにより、経費の節減に努めているが、それでもなお管理が行き届いていない施設があることも事実である。さらに一層の適正な管理に努めていきたい。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	6
事務事業名	社会体育振興事業		
総合計画 の体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
事業目的	暮らしの中に「体育」を取り入れるよう、「町民と結びついた社会体育」をスローガンに各種講習会や大会などを開催し、町民にスポーツ参加の機会と普及に努めること。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室開催 ・スポーツ大会開催 ・体育協会支援 ・スポーツ少年団支援 	・	<ul style="list-style-type: none"> ・体育指導委員事務
現在における課題	<p>健康のために運動する方は、多くなっているが、スポーツとなるとまだまだ少なく、大人向けのスポーツ教室を実施しているが、ニーズに合わず、なかなか参加者が増えない。</p> <p>団体支援では、自分たちだけの活動が中心のため、多くの人を巻き込める事業を増やしていきたい。</p>		
平成 23 年度 に向けた改善策等	<p>教室では、体育指導員を中心にターゲットを絞った教室を計画をしていく。また、行政だけでなく、NPO団体の教室を把握し、連携の取れた教室の実施を進める。</p> <p>団体支援では、自分たちの視点で団体を見直し、自らが中心となる団体として支援する。</p>		

■作業工程（平成23年度）

月	作業内容
4	各団体補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月）
9	地区別ソフトボール大会開催
10	町民体育祭開催
12	愛知駅伝参加
3	桜並木健康ジョギング開催 ・体育指導委員会議は毎月1回開催 ・スポーツ教室は年度当初に企画し、夏以降に開催

□3年間の目標

目 標	.					
	.					
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	.
H25	.

■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	11,110	12,670	11,080
(内特定財源)		千円	1,276	2,130	527
人工	職員	人工		1.0	0.8
	臨時職員	人工		0.5	0.2
	計	人工		1.5	1.0

■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
03	13	スポーツ教室開催委託料	△1,859	スキー・スノーボード教室は、ウィル大ロスポートクラブが開催するため、町の行事から削除したことによる。
合 計				

■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
学校開放施設使用料	507	
スポーツ教室受講料	20	
合 計	527	

■特記事項

--

■改善策等に対する取組内容

体育指導委員の活躍により健康のためのスポーツ教室を計画し実施している。また、体育指導委員による新たな事業の取り組みも検討し、試行している。

団体支援では、活動団体の内部だけの活動が多くなりがちなので、より多くの町民を巻き込める事業を増やすよう指導した。

■評価

健康のためのスポーツ教室を実施し、新たな事業の取り組みも検討し、試行するなど、体育指導委員の活躍により、健康とスポーツの連携を図った事業がより多く展開できた。

総合型地域スポーツクラブによる体育事業の展開が住民に定着してきており、町の事業実施負担は多くの部分で軽減されてきている。

今後も体育指導委員を中心として、総合型地域スポーツクラブとの連携もより密に図りつつ事業展開を進めていきたいと考える。